

## ニーズ調査からみる「地域における司法アクセス」

飯田 高（東京大学社会科学研究所）

## I はじめに

法テラス・一般ニーズ調査（2025年実施）

※本報告は暫定的な数値に基づいており、確定した数値は報告書で公表する予定

## II 問題の経験

## (1) 全体的な傾向

【質問】「あなたご自身またはあなたのご家族は、最近5年ほどの間（2020年以降）に、このような問題について、困ったことや不満に思ったことがありますか」

【商品等の契約をめぐる問題】	1 商品やサービスの不足や欠陥 2 商品やサービスの代金の支払い 3 悪質商法 4 商品・サービスの契約に関する上記（1～3）以外の問題
【お金の貸し借りをめぐる問題】	5 借金（あなた側は借りた側） 6 貸金（あなた側は貸した側）
【土地・建物をめぐる問題】	7 土地・建物の売買、建築・改築 8 土地・建物の賃貸借
【職場や働き方をめぐる問題】	9 賃金、残業代、退職金 10 解雇、雇止め 11 職場でのいやがらせ（パワハラ、セクハラ等） 12 労働災害 13 職場や働き方に関する上記（9～12）以外の問題
【子どもや学校をめぐる問題】	14 子どもとのいじめ 15 子どもの虐待（性的・心理的なものも含む） 16 学校での先生・職員からの暴言・暴力・ハラスメント 17 学校での事故
【日常生活上の問題】	18 近隣とのトラブル（騒音、振動、日照など） 19 交際相手とのトラブル 20 差別から生じる問題 21 医療関係の問題（医療事故、病院とのトラブルなど） 22 保険金の請求 23 SNS等での誹謗中傷やいじめ 24 SNS等での詐欺
【家族・家庭における問題】	25 離婚・関係破綻 26 離婚後の子どもの養育・監護・面会交流 27 介護 28 相続・遺言 29 DV（配偶者または元配偶者からの暴力） 30 上記（29）以外の家庭内暴力
【交通事故や犯罪】	31 交通事故 32 犯罪被害（交通関係以外）
【公的機関との間で生じる問題】	33 警察や公務員等とのトラブル 34 税金や公的給付に関する問題 35 国、都道府県、市区町村との間の問題（上記33,34を除く）
【その他の問題】	36 災害関係 37 宗教関係 38 上記1～37以外の問題 (具体的に： )

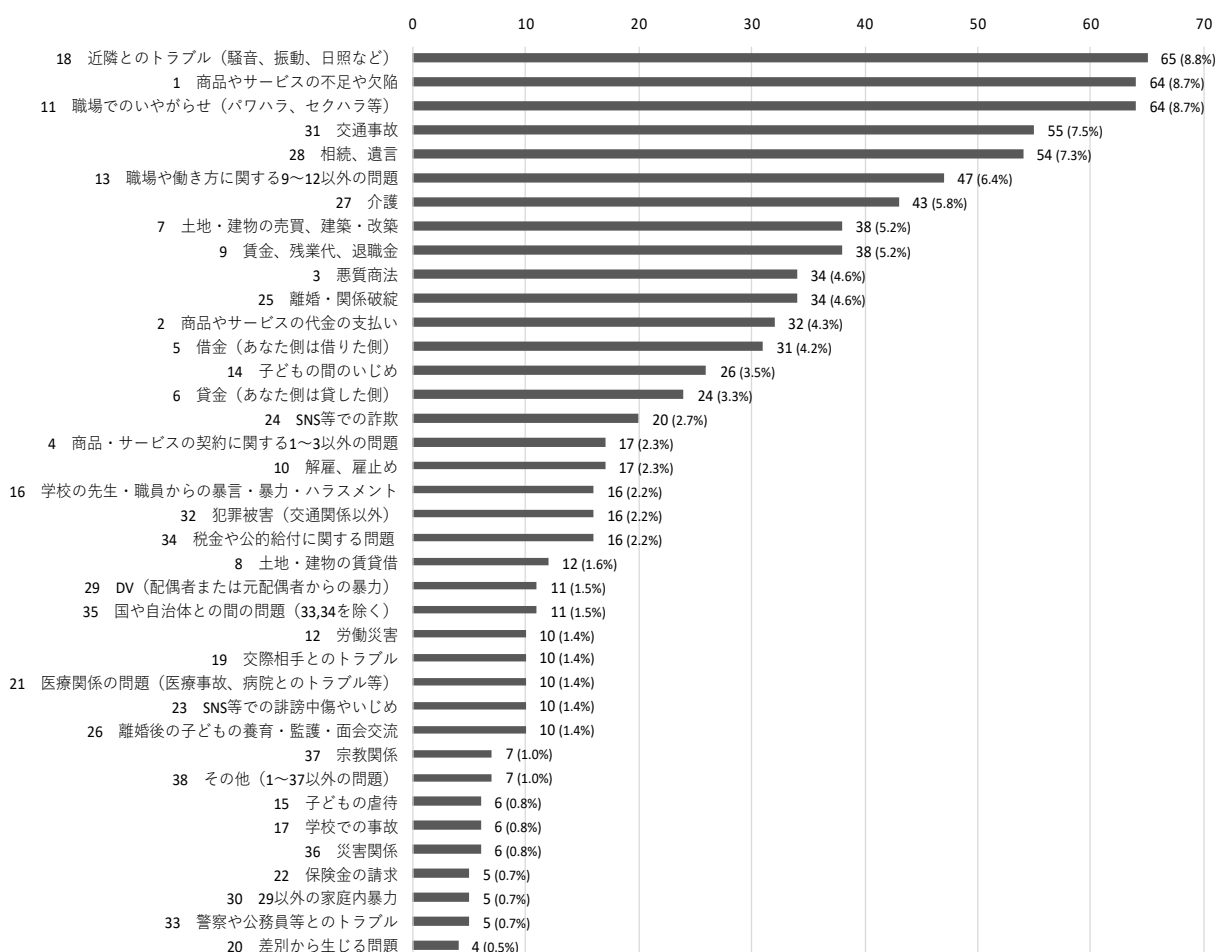
・回答者 764 名のうち、リストに挙げた 1～38 の問題のいずれか 1 つ以上を経験したと答えたのは 349 名（全回答者中 45.7%、「わからない・おぼえていない」67 名および無回答 28 名を除くと 52.2%）

・問題類型別の回答は【表 1】および【図 1】を参照

【表 1】回答者およびその家族が経験した法律問題の種類（複数回答可）

問題の種類		実数	%
商品等の契約をめぐる問題	商品やサービスの不足や欠陥	64	8.4%
	商品やサービスの代金の支払い	32	4.2%
	悪質商法	34	4.5%
	商品・サービスの契約に関する上記（1～3）以外の問題	17	2.2%
お金の貸し借りをめぐる問題	借金（あなた側は借りた側）	31	4.1%
	貸金（あなた側は貸した側）	24	3.1%
土地・建物をめぐる問題	土地・建物の売買、建築・改築	38	5.0%
	土地・建物の賃貸借	12	1.6%
職場や働き方をめぐる問題	貸金、残業代、退職金	38	5.0%
	解雇、雇止め	17	2.2%
	職場でのいやがらせ（パワハラ、セクハラ等）	64	8.4%
	労働災害	10	1.3%
	職場や働き方に関する上記（9～12）以外の問題	47	6.2%
子どもや学校をめぐる問題	子どもの間のいじめ	26	3.4%
	子どもの虐待（性的・心理的なものも含む）	6	0.8%
	学校での先生・職員からの暴言・暴力・ハラスメント	16	2.1%
	学校での事故	6	0.8%
日常生活上の問題	近隣とのトラブル（騒音、振動、日照など）	65	8.5%
	交際相手とのトラブル	10	1.3%
	差別から生じる問題	4	0.5%
	医療関係の問題（医療事故、病院とのトラブルなど）	10	1.3%
	保険金の請求	5	0.7%
	SNS等での誹謗中傷やいじめ	10	1.3%
	SNS等での詐欺	20	2.6%
家族・家庭における問題	離婚・関係破綻	34	4.5%
	離婚後の子どもの養育・監護・面会交流	10	1.3%
	介護	43	5.6%
	相続、遺言	54	7.1%
	DV（配偶者または元配偶者からの暴力）	11	1.4%
	上記（29）以外の家庭内暴力	5	0.7%
交通事故や犯罪	交通事故	55	7.2%
	犯罪被害（交通関係以外）	16	2.1%
公的機関との間で生じる問題	警察や公務員等とのトラブル	5	0.7%
	税金や公的給付に関する問題	16	2.1%
	国、都道府県、地区町村との間の問題（上記33, 34を除く）	11	1.4%
その他の問題	災害関係	6	0.8%
	宗教関係	7	0.9%
	上記1～37以外の問題	7	0.9%
困ったこと、不満をもったことはない		320	41.9%
わからない・おぼえていない		67	8.8%
（無回答）		28	3.7%
全体		764	100.0%

【図1】回答者およびその家族が経験した法律問題の種類（頻度順）



(2) 問題経験と都市規模

【表2】法律問題の経験状況（都市規模別）

		大都市 (n=228)	中都市 (n=296)	小都市・郡部 (n=240)	合計
問題経験なし	件数	89	138	93	320
	%	43.8%	52.5%	45.8%	47.8%
問題経験あり	件数	114	125	110	349
	%	56.2%	47.5%	54.2%	52.2%
合計	件数	203	263	203	669
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※大都市：東京23区+政令指定都市、中都市：10万人以上の市、小都市：10万人未満の市

- ・都市規模が大きいほど問題経験が多い、というわけではない  
(2008年調査と比較すると、3つのグループの差が小さくなっている)
- ・経験されている問題タイプの分布は都市規模によってやや異なり、大都市で最も多いのは「商品やサービスの不足や欠陥」、中都市では「職場でのいやがらせ」、小都市・郡部では「近隣とのトラブル」(【表3】と【表4】を参照)

【表3】多かった問題類型(都市規模別、上位3つ)

大都市	中都市	小都市・郡部
①商品やサービスの不足・欠陥(11.0%)	①職場でのいやがらせ(9.8%)	①近隣とのトラブル(9.2%)
②近隣とのトラブル(10.5%)	②交通事故(8.1%)	②相続、遺言(8.3%)
③相続、遺言(8.3%)	③商品やサービスの不足・欠陥(7.1%)	②交通事故(8.3%)

【表4】都市規模別の問題経験状況

問題の種類	大都市 (n=228)	中都市 (n=296)	小都市・郡部 (n=240)	
商品等の契約をめぐる問題	商品やサービスの不足や欠陥	<b>11.0%</b>	<b>7.1%</b>	7.5%
	商品やサービスの代金の支払い	3.9%	4.1%	4.6%
	悪質商法	3.1%	6.1%	3.8%
	商品・サービスの契約に関する1~3以外の問題	4.4%	0.7%	2.1%
お金の貸し借りをめぐる問題	借金(あなた側は借りた側)	5.7%	3.4%	3.3%
	貸金(あなた側は貸した側)	3.9%	2.4%	3.3%
土地・建物をめぐる問題	土地・建物の売買、建築・改築	6.6%	3.0%	5.8%
	土地・建物の賃貸借	2.2%	1.0%	1.7%
職場や働き方をめぐる問題	貸金、残業代、退職金	6.1%	3.7%	5.4%
	解雇、雇止め	2.6%	3.0%	0.8%
	職場でのいやがらせ(パワハラ、セクハラ等)	7.9%	<b>9.8%</b>	7.1%
	労働災害	0.4%	2.0%	1.3%
	職場や働き方に関する上記(9~12)以外の問題	7.5%	6.4%	4.6%
子どもや学校をめぐる問題	子どもとのいじめ	3.9%	4.1%	2.1%
	子どもの虐待(性的・心理的なものも含む)	0.9%	0.7%	0.8%
	学校での先生・職員からの暴言・暴力・ハラスメント	1.8%	3.4%	0.8%
	学校での事故	0.9%	0.7%	0.8%
日常生活上の問題	近隣とのトラブル(騒音、振動、日照など)	<b>10.5%</b>	6.4%	<b>9.2%</b>
	交際相手とのトラブル	1.3%	0.7%	2.1%
	差別から生じる問題	0.9%	0.3%	0.4%
	医療関係の問題(医療事故、病院とのトラブルなど)	1.3%	1.4%	1.3%
	保険金の請求	0.4%	0.7%	0.8%
	SNS等での誹謗中傷やいじめ	1.3%	1.0%	1.7%
	SNS等での詐欺	3.1%	2.4%	2.5%
家族・家庭における問題	離婚・関係破綻	4.4%	3.4%	5.8%
	離婚後の子どもの養育・監護・面会交流	2.2%	0.7%	1.3%
	介護	6.6%	4.1%	6.7%
	相続、遺言	<b>8.3%</b>	5.1%	<b>8.3%</b>
	DV(配偶者または元配偶者からの暴力)	2.2%	1.7%	0.4%
	上記(29)以外の家庭内暴力	0.4%	1.0%	0.4%
交通事故や犯罪	交通事故	4.8%	<b>8.1%</b>	<b>8.3%</b>
	犯罪被害(交通関係以外)	3.5%	1.7%	1.3%
公的機関との間で生じる問題	警察や公務員等とのトラブル	0.4%	1.4%	0.0%
	税金や公的給付に関する問題	3.1%	1.0%	2.5%
	国、都道府県、地区町村との間の問題(33, 34を除く)	2.2%	1.4%	0.8%
その他の問題	災害関係	0.0%	1.0%	1.3%
	宗教関係	1.8%	0.3%	0.8%
	上記1~37以外の問題	1.3%	0.7%	0.8%

### III 問題の処理・解決

回答者に「最も重要であった問題」を1つ選んでもらったうえで、その問題についてどのような行動をとったかを尋ねている

#### (1) 相談

【表5】誰かに相談した人の割合（都市規模別）

	大都市 (n=108)	中都市 (n=122)	小都市・郡部 (n=107)	合計
相談した	75.0%	57.4%	66.4%	65.9%
相談していない	22.2%	41.0%	32.7%	32.3%
おぼえていない	2.8%	1.6%	0.9%	1.8%

【表6】弁護士・司法書士に相談した人の割合（都市規模別）<sup>1</sup>

	大都市 (n=108)	中都市 (n=122)	小都市・郡部 (n=107)	合計
弁護士・司法書士に相談	37.0%	20.5%	29.9%	28.8%
公的相談窓口を除いた場合	(25.0%)	(13.1%)	(20.6%)	(19.3%)

- ・相談先として最も多いのは「家族・親戚」、以下「友人・同僚」、「国、都道府県、市区町村などの相談窓口」、「その他」、「弁護士・司法書士の事務所」の順
- ・大都市では相談率が75%に達しているのに対し、中都市では6割未満にとどまっている（【表5】）
- ・弁護士・司法書士への相談率を都市規模別に見ると、大都市で高く、中都市で低い傾向が見られる（【表6】）
- ・ただし、大都市における相談は公的相談窓口を経由している場合が多く、公的相談窓口を除くと割合は大きく低下
- ・実数が10件以上の問題類型のうち、弁護士・司法書士への相談率が高いのは「相続、遺言」、「介護」（ただしこの2つは公的相談窓口への相談を除くと割合は減少）、「離婚・関係破綻」、「土地・建物の売買、建築・改築」、「借金」（【表7】）

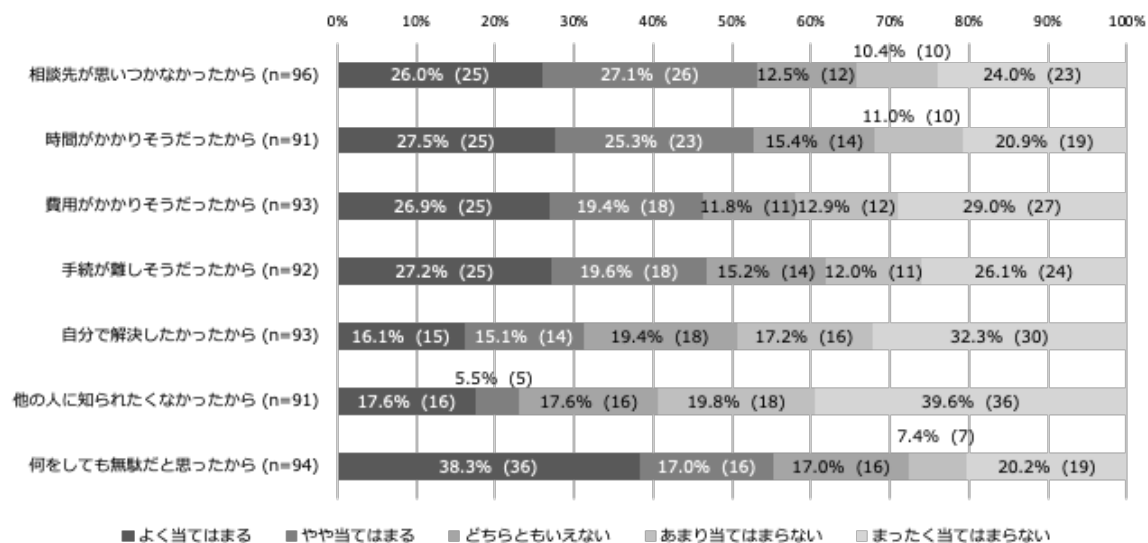
<sup>1</sup> 相談先のうち、「法テラス」、「弁護士会・司法書士会の無料法律相談」、「弁護士会・司法書士会の有料法律相談」、「弁護士・司法書士の事務所」、「国、都道府県、市区町村などの相談窓口」のいずれかを選択した人の割合を示している。ただし、国や自治体などの公的相談窓口には弁護士や司法書士などの法律専門家が含まれないこともあるため、公的相談窓口を除いた場合の割合も併記している。

- ・他方、弁護士・司法書士への相談率が低いのは、「貸金、残業代、退職金」、「職場でのいやがらせ」、「商品やサービスの不足や欠陥」、「職場や働き方に関する上記以外の問題」（当事者が契約関係にある場合、一般に相談率が低いようである）
- ・なお、若年層（29歳以下）では弁護士・司法書士への相談率が非常に低い（約3%）

【表7】問題類型別の相談率（相談した人の比率）および弁護士・司法書士への相談率

問題の種類	実数	相談率	弁護士・司法書士への相談率	公的相談窓口を除いた場合	
商品等の契約をめぐる問題	商品やサービスの不足や欠陥	17	29.4%	11.8%	(11.8%)
	商品やサービスの代金の支払い	9	33.3%	0.0%	(0.0%)
	悪質商法	7	57.1%	14.3%	(0.0%)
	商品・サービスの契約に関する上記（1～3）以外の問題	4	75.0%	50.0%	(25.0%)
お金の貸し借りをめぐる問題	借金（あなた側は借りた側）	15	53.3%	40.0%	(40.0%)
	貸金（あなた側は貸した側）	12	50.0%	33.3%	(25.0%)
土地・建物をめぐる問題	土地・建物の売買、建築・改築	11	81.8%	45.5%	(36.4%)
	土地・建物の賃貸借	7	71.4%	42.9%	(14.3%)
職場や働き方をめぐる問題	貸金、残業代、退職金	14	64.3%	0.0%	(0.0%)
	解雇、雇止め	6	33.3%	16.7%	(0.0%)
	職場でのいやがらせ（パワハラ、セクハラ等）	29	75.9%	10.3%	(6.9%)
	労働災害	2	100.0%	100.0%	(50.0%)
	職場や働き方に関する上記（9～12）以外の問題	22	59.1%	13.6%	(4.5%)
子どもや学校をめぐる問題	子ども間のいじめ	9	100.0%	11.1%	(11.1%)
	子どもの虐待（性的・心理的なものも含む）	2	50.0%	0.0%	(0.0%)
	学校での先生・職員からの暴言・暴力・ハラスメント	2	50.0%	0.0%	(0.0%)
	学校での事故	3	100.0%	33.3%	(33.3%)
日常生活上の問題	近隣とのトラブル（騒音、振動、日照など）	27	74.1%	25.9%	(18.5%)
	交際相手とのトラブル	2	100.0%	50.0%	(50.0%)
	差別から生じる問題	0	0.0%	0.0%	(0.0%)
	医療関係の問題（医療事故、病院とのトラブルなど）	6	66.7%	33.3%	(33.3%)
	保険金の請求	2	0.0%	0.0%	(0.0%)
	SNS等での誹謗中傷やいじめ	3	100.0%	33.3%	(33.3%)
	SNS等での詐欺	9	55.6%	22.2%	(22.2%)
家族・家庭における問題	離婚・関係破綻	15	60.0%	46.7%	(40.0%)
	離婚後の子どもの養育・監護・面会交流	3	66.7%	33.3%	(33.3%)
	介護	21	90.5%	47.6%	(4.8%)
	相続、遺言	28	67.9%	50.0%	(32.1%)
	DV（配偶者または元配偶者からの暴力）	5	40.0%	40.0%	(40.0%)
	上記（29）以外の家庭内暴力	2	50.0%	50.0%	(0.0%)
交通事故や犯罪	交通事故	25	68.0%	32.0%	(32.0%)
	犯罪被害（交通関係以外）	6	100.0%	50.0%	(50.0%)
公的機関との間で生じる問題	警察や公務員等とのトラブル	3	66.7%	33.3%	(0.0%)
	税金や公的給付に関する問題	6	0.0%	0.0%	(0.0%)
	国、都道府県、地区町村との間の問題（上記33, 34を除く）	2	50.0%	50.0%	(0.0%)
その他の問題	災害関係	1	0.0%	0.0%	(0.0%)
	宗教関係	2	0.0%	0.0%	(0.0%)
	上記1～37以外の問題	6	66.7%	16.7%	(0.0%)

【図2】相談しなかった理由（対象：誰にも相談しなかった人）



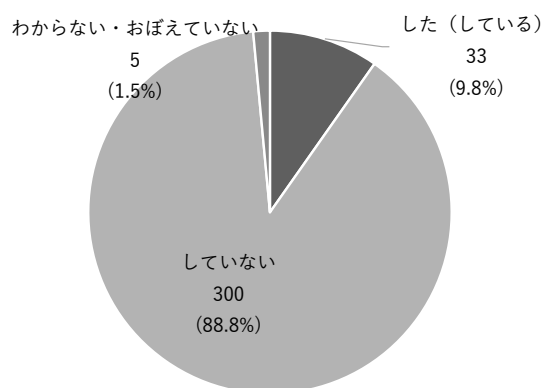
【表8】相談しなかった理由（都市規模別）<sup>2</sup>

理由	都市規模	肯定回答	その他	肯定回答の割合
相談先が思いつかなかったから (n=96)	大都市	8	11	42.1%
	中都市	23	23	50.0%
	小都市・郡部	20	11	64.5%
時間がかかりそうだったから (n=91)	大都市	6	11	35.3%
	中都市	26	19	57.8%
	小都市・郡部	16	13	55.2%
費用がかかりそうだったから (n=93)	大都市	7	12	36.8%
	中都市	23	21	52.3%
	小都市・郡部	13	17	43.3%
手続きが難しそうだったから (n=92)	大都市	4	14	22.2%
	中都市	22	22	50.0%
	小都市・郡部	17	13	56.7%
自分で解決したかったから (n=93)	大都市	10	8	55.6%
	中都市	14	31	31.1%
	小都市・郡部	5	25	16.7%
他の人に知られたくなかったから (n=91)	大都市	6	12	33.3%
	中都市	10	34	22.7%
	小都市・郡部	5	24	17.2%
何をしても無駄だと思ったから (n=94)	大都市	11	9	55.0%
	中都市	27	19	58.7%
	小都市・郡部	14	14	50.0%

<sup>2</sup> 二値化せずに分析した結果については、10ページの《補1》を参照。

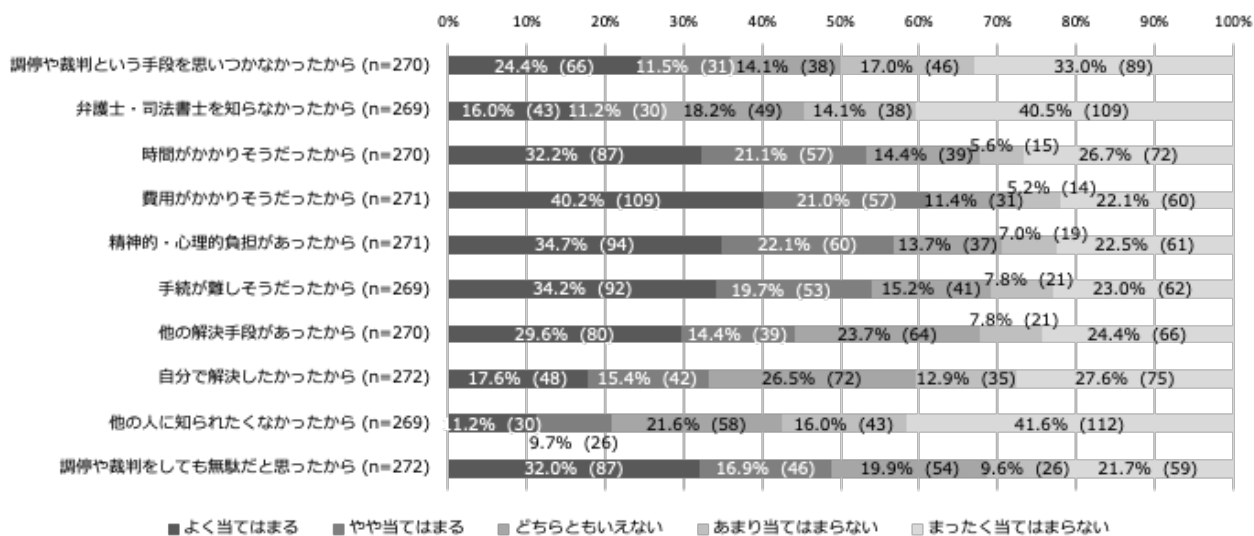
## (2) 法的手続の利用

【図3】 調停・裁判の有無 (n=338)



【図4】 調停や裁判をしなかった理由

(対象：調停や裁判をしておらず、今後もする予定がないと答えた人)



- ・ 時間と費用は大きな要因
- ・ 小都市や郡部では、「精神的・心理的負担がかかる」「手続が難しそう」という理由を挙げる人がやや多い (【表9】)
- ・ 逆に、大都市では「自分で解決したかった」という理由を挙げる人が多い
- ・ ただし、統計的に有意な差ではない (11 ページの《補2》も参照)

【表9】調停や裁判をしなかった理由（都市規模別）

		肯定回答	その他	肯定回答の割合
調停や裁判という手段を 思いつかなかったから (n=270)	大都市	34	47	42.0%
	中都市	31	67	31.6%
	小都市・郡部	32	59	35.2%
弁護士・司法書士を 知らなかったから (n=269)	大都市	20	60	25.0%
	中都市	26	73	26.3%
	小都市・郡部	27	63	30.0%
時間がかかりそうだったから (n=270)	大都市	40	39	50.6%
	中都市	56	43	56.6%
	小都市・郡部	48	44	52.2%
費用がかかりそうだったから (n=271)	大都市	44	35	55.7%
	中都市	63	35	64.3%
	小都市・郡部	59	35	62.8%
精神的・心理的負担があったから (n=271)	大都市	43	36	54.4%
	中都市	53	46	53.5%
	小都市・郡部	58	35	62.4%
手続きが難しそうだったから (n=269)	大都市	39	41	48.8%
	中都市	52	46	53.1%
	小都市・郡部	54	37	59.3%
他の解決手段があったから (n=270)	大都市	34	47	42.0%
	中都市	43	56	43.4%
	小都市・郡部	42	48	46.7%
自分で解決したかったから (n=272)	大都市	30	49	38.0%
	中都市	35	66	34.7%
	小都市・郡部	25	67	27.2%
他の人に知られたくなかったから (n=269)	大都市	16	63	20.3%
	中都市	14	85	14.1%
	小都市・郡部	26	65	28.6%
調停や裁判をしても無駄だと思ったから (n=272)	大都市	38	42	47.5%
	中都市	55	47	53.9%
	小都市・郡部	40	50	44.4%

#### IV おわりに（個人的な所感）

- ・人々の直面する問題や対応行動に関してはいくつかの点で地域差が見られ、制度による救済も必要かもしれない
- ・それと同時に、地域に関係なく全体的に現れている傾向も重要
- ・問題は社会に広く分布しているので、制度の対象となる人たちのカテゴリーを細かくしすぎると、それらの隙間でこぼれ落ちてしまう人が多くなる可能性がある

《補1》相談しなかった理由（都市規模別の比較）

		度数	平均値	標準偏差	F値
相談先が思いつかなかったから (n=96)	大都市	19	3.26	1.52	1.87
	中都市	46	2.84	1.55	
	小都市・郡部	31	2.41	1.48	
時間がかかりそうだったから (n=91)	大都市	17	3.24	1.64	1.29
	中都市	45	2.56	1.47	
	小都市・郡部	29	2.69	1.44	
費用がかかりそうだったから (n=93)	大都市	19	3.58	1.64	1.81
	中都市	44	2.75	1.54	
	小都市・郡部	30	2.93	1.64	
手続きが難しそうだったから (n=92)	大都市	18	3.83	1.47	4.29 *
	中都市	44	2.73	1.48	
	小都市・郡部	30	2.60	1.59	
自分で解決したかったから (n=93)	大都市	18	2.83	1.58	1.69
	中都市	45	3.36	1.48	
	小都市・郡部	30	3.63	1.35	
他の人に知られたくなかったから (n=91)	大都市	18	3.22	1.66	0.68
	中都市	44	3.70	1.53	
	小都市・郡部	29	3.62	1.32	
何をしても無駄だと思ったから (n=94)	大都市	20	2.65	1.57	0.75
	中都市	46	2.35	1.59	
	小都市・郡部	28	2.79	1.47	

\*  $p < .05$ , \*\*  $p < .01$

平均値は、数字が小さいほど「あてはまる」寄り

《補2》調停や裁判をしなかった理由（都市規模別の比較）

		度数	平均値	標準偏差	F値
調停や裁判という手段を 思いつかなかったから (n=270)	大都市	81	3.07	1.57	0.98
	中都市	98	3.40	1.64	
	小都市・郡部	91	3.18	1.57	
弁護士・司法書士を 知らなかったから (n=269)	大都市	80	3.58	1.44	0.84
	中都市	99	3.63	1.54	
	小都市・郡部	90	3.36	1.52	
時間がかかりそうだったから (n=270)	大都市	79	2.70	1.56	0.03
	中都市	99	2.76	1.67	
	小都市・郡部	92	2.74	1.58	
費用がかかりそうだったから (n=271)	大都市	79	2.54	1.57	0.22
	中都市	98	2.51	1.61	
	小都市・郡部	94	2.39	1.57	
精神的・心理的負担があったから (n=271)	大都市	79	2.59	1.56	1.50
	中都市	99	2.80	1.66	
	小都市・郡部	93	2.40	1.44	
手続が難しそうだったから (n=269)	大都市	80	2.69	1.52	0.52
	中都市	98	2.76	1.61	
	小都市・郡部	91	2.53	1.57	
他の解決手段があったから (n=270)	大都市	81	2.73	1.47	0.34
	中都市	99	2.92	1.57	
	小都市・郡部	90	2.82	1.57	
自分で解決したかったから (n=272)	大都市	79	2.95	1.39	1.35
	中都市	101	3.28	1.52	
	小都市・郡部	92	3.25	1.39	
他の人に知られたくなかったから (n=269)	大都市	79	3.58	1.36	2.61
	中都市	99	3.92	1.29	
	小都市・郡部	91	3.48	1.49	
調停や裁判をしても無駄だと思ったから (n=272)	大都市	80	2.69	1.44	0.66
	中都市	102	2.62	1.59	
	小都市・郡部	90	2.87	1.55	

\* p < .05, \*\* p < .01

平均値は、数字が小さいほど「あてはまる」寄り